

豊田市立崇化館中学校校長室だより



令和8年6月25日（木）No.3 文責：松原秀敏

## 踏まれた麦は、強くなる！

壮行会が行われると、「いよいよ夏が始まる！」という気持ちになります。今年の壮行会も、冬の「麦」の話をしします。

### 「踏まれた麦は強くなる！」

何度も踏まれて冬を越した麦の「芽」は、踏まれなかった麦の「芽」よりも、強く大きく育ち、春には豊かに実るのだそうです。



### 「踏まれた麦は強くなる！」

麦のように、踏まれるほどに、強い芽を出そう！これは、崇化館の長い歴史の中で受け継がれてきた信念です。校歌にある崇化館中学の「ほこり」とは、麦のように、踏まれるほどに、強い芽を出すことだと私は思います。

### 「踏まれた麦は強くなる！」

ミスをしたたり、間違えたりと、それこそ、何度も踏まれるような思いをしながら、皆さんは強い芽になってきました。明後日からの大会・コンクールでも、何度も何度も踏まれるような気持ちになるかもしれません。そんなときこそ、「踏まれた麦は強くなる！」…この言葉を思い出してください。

1・2年生の皆さん、9月から、SCAは学校から地域へと展開され、生徒が主体となって運営するSCAへと変わっていきます。現在、平日のSCAを見守る大人の方を「平日補助員」として、生徒会と一緒に、募集しています。

ここで、生徒会通信「暁」の大人の方へのメッセージを紹介します。

『9月からの平日のSCAは、保護者・地域の方の見守りで、自分たちで練習するようになります。私たち3年生は引退していますが、1・2年生の後輩たちが、新しいSCAをつくってくれると信じています。…(略)…後輩たちもSCAを通して成長していくと思います。多くの皆様が、平日補助員に応募して下さると嬉しいです。後輩たちのために、よろしくお願いします。』  
(生徒会通信「暁」生徒会長あいさつより抜粋)

1・2年生の皆さん、9月からの新しいSCAは、まさに、SCAの「暁」、つまり「はじまり」です。3年生からの期待を励みに、この夏、自立したチームづくりを大切に、9月に向けて準備を進めてください。

最後に、3年生の皆さん、「最高の結果を残して、次のSCAへ最高のバトンパスをしよう!」、そんな皆さんの「覚悟」が伝わってきます。「名場面」とは、「覚悟」の先にあります。皆さんは今、「名場面」の一步手前にいます。崇化館中学の「ほこり」をもって、この夏の「名場面」を探しにいきましょう!

(6.18 SCA壮行会より)

## 崇中ヒストリー



今から50年前の開校30年目の年に  
「麦の会」が発足しました。



第14代校長 清水均先生 著  
『一粒の麦』 平成4年発行